

科目名	ロシア語1							教職	
科目区分	外国語	履修区分	選択	配当年次	2	単位数	2	開講区分	前期
教員名	木寺 律子（非常勤）								
授業の概要	<p>キーワード： ロシア、文法、会話</p> <p>ロシア語の文字と発音を覚え、挨拶表現や身の回りの単語、初歩的な文法を学ぶ。視聴覚教材を使用して、ロシア語の歌を歌ったり、ロシアのアニメや映画の一部分を觀賞したりし、多様なロシア文化に触れる機会を持つ。</p>								
到達目標	ロシア語に親しみ、初歩的な文法や単語を習得する。ロシア語とロシア文化の様々な側面を知ることによって、それぞれの学生が自分なりに、今後ロシアのどのような点に関心を持って勉強を続けていくかを意識できるようにする。								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要説明、ロシア文化全般の紹介 2. キリル文字の書き方と発音 3. キリル文字の書き方と発音、簡単な単語 4. キリル文字の書き方と発音、簡単な単語 5. キリル文字の書き方と発音、簡単な単語 6. 「これは誰ですか?」「これはナターシャです。」 7. 人称代名詞、否定文、挨拶表現 8. 所有代名詞、指示代名詞、小テスト 9. 形容詞と名詞の性 10. 動詞の現在人称変化（第1変化） 11. 動詞の現在人称変化（第2変化）、名詞の複数形の作り方 12. 再帰動詞、場所を表す表現（B+前置格） 13. 所有の表現（Y+生格）、動詞の命令形の作り方 14. ロシア語の名詞と形容詞の格変化 15. 「何々をしたい」の表現、行き先の表現（B/Н a+対格） 16. 定期試験 								
評価方法	平常点（20%）、小テスト（20%）、定期試験（60%）によって判断します。								
講義外での学習	授業にしっかりついていけるように、予習、復習をしましょう。								
履修上の注意事項	<p>人数制限あり。</p> <p>まずは文字と発音を確実に覚えることが、今後ロシア語学習をスムーズに続けていくために不可欠です。ロシア語の単語はほぼ規則通りの発音で読むものなので、文字と発音さえ覚えてしまえば、その後は発音通りの単語の綴りを覚えるのが楽になります。しかし文字と発音があやふやなままだと、その後文法や単語を習っても、うろ覚えのままになります。</p> <p>※先修科目： 無し</p>								
教材	<p>◆教科書： 黒田龍之介著『ニューエクスプレスロシア語』白水社 (ISBN 978-4-560-00627-6)</p> <p>◆参考書： 井桁貞義『コンサイス露和辞典』三省堂</p>								